

EX-2024-

基礎能力

試験問題

注意事項

- 問題は **30 題(41 ページ)**で、解答時間は **2 時間 20 分**です。
- この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
- 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
- 下欄に受験番号等を記入してください。

試験の種類	第1次試験地	受験番号	氏名
	東京都		

指示があるまで中を開いてはいけません。

途中で退室する場合……………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを

希望しない

【No. 1】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

環境とはそこで生物が生活する世界であり、生活の場である。しかしそれは単に生活空間といったような物理的な意味のものでなくて、生物の立場からいえばそれは生物自身が支配している生物自身の延長である。もちろんこういったからといって環境は生物が自由につくり自由に変え得るものではないのである。環境をどこまでも生物の自由にならない、その意味において生物自身に対立するものと見るならば、その環境はわれわれの身体の中にまで入り込んで来ているばかりでなくて、実はわれわれの身体さえ自由につくり自由に変えることができないという点では、これを環境の延長と見なすこともできるであろう。生物の中に環境的性質が存在し、環境の中に生物的性質が存在するということは、生物と環境とが別々の存在でなくて、もとは一つのものから分化発展した、一つの体系に属していることを意味する。その体系というものは、広い意味ではこのわれわれの世界全体が一つの体系ということにもなるが、一匹一匹の生物がそれぞれの世界の中心をなしているという意味からいえば、その生物とその生物の環境とでやはり一つの体系をつくっているといえるのである。

そしてこの生物と環境との交互作用によって成り立った体系において、環境は一応物質または物質を代表するものというように考えられてよいであろう。だからわれわれの身体までが、その意味において環境の延長と見なし得られるわけである。これに対して生物の方は、生命または精神を現わす側にあるものであり、環境を生物の延長とみることはすなわち環境の生命化であり精神化でなければならぬ。それにもかかわらずいままで生物と環境というような問題を取扱う場合には、研究者はいつも生物の立場をとらないで環境の立場をとり、環境の物質的性質を介して生物なるものを解釈しようという態度をとる場合が多かったのである。もちろんこういう態度をとることが、生物学の研究方法として間違っているというのではない。生物の立場をとるということは、どんな生物にだって同じ程度にその適用が許されているのではないからして、われわれの類推がきかないような下等な動物や植物の生活を、環境の物質的性質でもってはかり、これによってそれらの生物を知ろうというのは、確かに客観的科学的な態度として認められるであろう。けれどもこのようにしていれば環境によって翻訳され、環境によって定義された生物が、はたして具体的な生物のそのままな姿を現わしているといえるだろうか。環境は確かに生物がこれを自由につくったり変えたりはできないものである。しかしそうかといって生物はけっして環境に支配され、環境の規定するままに一切の自由を失ったものとはいえないのである。むしろ生物の立場にたっていえば、絶えず環境に働きかけ、環境をみずからの支配下におこうとして努力しているものが生物なのである。環境のままにおし流されて行くものなら、われわれは何もそこに自律性や主体性を認める必要はないのである。それならば単なる機械にすぎない。

ここにだから環境の側に立って生物を解釈する際に、われわれが注意しなければならない点が潜んでいるのである。すなわちそれが方法論として間違っただけのものではなくとも、それから導き出された結果として、環境が生物のすべての行動を決定するもののごとく解したならば、この解釈は明らかに間違いであるといわねばならない。

1. 環境は生物自身が支配している生物自身の延長であり、生物は環境の延長であるというように、それぞれの中に互いの性質が存在することは、生物と環境が一つの体系に属していることを示している。
2. 物質または物質を代表するものが環境であり、生命または精神を表現するものが生物であるという対立構造は、生物が長い時間をかけて進化する中で、次第に深まっていった。
3. 生物と環境は互いに作用し合っているが、環境が生物に与える影響は大きいため、近年、環境は生物に対して優位な立場にあるという観点から研究が行われることが多くなっている。
4. 環境の物質的性質を介して生物を解釈しようとする生物学の研究方法は、生物と環境を分離して生物そのものの機能や構造を研究する方法と比べて、生物そのままの姿を具体化できているかは疑問がある。
5. 生物は、環境を自由につくり変えることはできず、環境に働きかける自律性や主体性は認められないが、環境に規定されるままにおし流されるものではないということを、環境を介した生物学の研究によって明らかにする必要がある。

【No. 2】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

各地の民族紛争についてよく指摘されるのは、ある時期まで平和的・友好的に共存していた諸民族・エスニシティが、あるとき突然激しい対立に陥ったということである。もっとも、細かく見るなら、友好的共存が支配的だった時期においても個別的な対立・紛争などはあっただろうが、それは比較的低いレベルにとどまっていたのが、いくつかの条件の重なりの中で、驚くほど激しいレベルにまで高まったということだろう。問題なのは、あるときまで潜在的だったり、穏和だったりした紛争が顕在化し、次第にエスカレートし、ついには大規模な暴力に至るメカニズムはどのようなものか、それを予防するにはどうしたらよいのかという点にある。

「身内」と「他者」の区別は、それだけで紛争をもたらすとは限らないが、資源の稀少性——経済的富であれ、政治権力であれ、社会的名誉感情その他であれ——と結びつくとき、紛争に導きやすい。もっとも、稀少性という事実自体は至る所にあるもので、そのすべてが深刻な性格を帯びるわけではないが、ある局面でそれが特に強まる——あるいは、強まるだろうと予期される——とき、稀少資源をめぐる紛争が激化する。そうした紛争の中で、「われわれ集団」の連帯意識が利用され、紛争が「われわれ」対「彼ら」という形をとるなら、そのことによって集団間の対抗感情が強められる。また、ある集団内の個人がそれまではそれほど強い一体感をもっていなかったとしても、紛争の過程で「身内」としての一体感を強めることになる。

この場合、紛争に動員される連帯感情がどういう性格のものであるかは多種多様であり、特定のタイプの「身内」意識が特に紛争を激化させるということが、あらかじめ決まっているわけではない。しかし、ともかく何らかの「身内」意識・親近感・連帯感情がある程度存在し、それが紛争の過程で利用されることによって、よりいっそう強烈なものへと煽り立てられていく。こう考えるなら、事前にあったそうした感情は、それ自体として紛争の決定要因であるわけではないが、いったん動員され、煽り立てられると、一種の自己運動を起こし、收拾が非常に困難になる。

《中 略》

暴力的な衝突およびそのエスカレートを避けるためには、何が必要だろうか。この点に関して、「寛容」「開放性」「相互理解」等の精神が重要だということは古くから言い尽くされてきた。これらの言葉は紛争のエスカレートを防ぐ理性的な態度を象徴するとされ、「不寛容」「閉鎖的」「排他的」等の言葉は、逆に紛争エスカレートに通じる危険な態度だとされる。

そのこと自体は一般論的にいえばそのとおりであり、とりたてて異を唱えるべきことではない。だが、具体的な個々のケースにおいて、どの勢力が「寛容」で、どの勢力が「不寛容」かを判定するのは、容易とは限らない。国際社会の眼を意識する当事者たちは、しばしば自分たちの方が寛容だということを言葉の上で強調し、相手方が排他的・侵略的態度をとっているためにやむを得ず防衛措置に追い込まれたのだと説明する。現代社会において露骨に「領土拡張」「余所者排斥」「民族浄化」等々を自ら掲げる政治勢力は稀であり、これらの言葉はむしろ外から貼られた政治的レッテルとして機能することが多い。そして、「不寛容で排外的な敵」による攻撃から自らを守るためという意識に基づいた行動——主観的には対抗的・防衛的措置だが、相手方から見れば一方的攻勢と受け取られる——が紛争を悪循環的にエスカレートさせることが珍しくない。

1. 紛争の決定要因は何らかの「身内」意識・親近感・連帯感情にあり、集団内の各個人がその集団に対する一体感をどれほど強く感じていたかが、紛争のエスカレート of 重要な要因である。
2. 民族紛争の激化を防ぐためには、古くから言われてきたように「寛容」「開放性」「相互理解」等の精神が重要である。そのため、国際社会は、紛争当事者のうちどの勢力が「寛容」か「不寛容」かを見極めて、排他的な勢力への対抗措置を講じる必要がある。
3. 紛争の過程で利用され煽り立てられた「身内」意識は増幅し、収束困難となりやすい。また、紛争の当事者たちは、双方に相手方が排他的・攻撃的であると捉え、主観的には対抗措置となる行動をとることがあり、そうした行動が紛争の悪循環を招きがちである。
4. 「領土拡張」「余所者排斥」「民族浄化」といった露骨な政治的レッテルは、国際社会に対しては自集団の排他的・攻撃的態度を示すだけであるから、あくまでも「身内」としての一体感を強めるために集団内で使用されている。
5. 紛争当事者のうち、どの勢力が「他者」に対して「不寛容で排他的」な態度を取るかは、経済的富や政治権力といった稀少資源の量的差によって決定される。そのため、資源の稀少性の問題を解決することによって、紛争の過程で煽り立てられた「身内」意識の收拾が可能となる。

【No. 3】 次の と の文の間に、A～Dを並べ替えて続けると意味の通った文章になるが、その順序として最も妥当なのはどれか。

では、視点を変えて、日本における若者の大人への移行について考えるならば、ヨーロッパの議論からどのような示唆を得ることができるだろうか。日本の場合、少なくとも「働く」ということに関しては、正社員というあり方が今なお非常に大きな意味を持っているのは事実として指摘できるだろう。

A：しかも日本では正社員としての採用は慣行的に新規卒者が主な対象とされるなど機会が相対的に限定的であるため、「大人への移行」において就業すること、特に正社員になること(という一時点の移行)は、特に重要なポイントとして注目されることになる。中でも非典型雇用から正社員になることは当事者にとっても社会的にも大きな課題とみなされ、「フリーターからの離脱」をめぐる多くの議論がなされている。

B：従来の移行のあり方が、新規卒一括採用のゆらぎ・若年層での非典型雇用の増加・晩婚化や未婚化傾向の進展などによってゆらぎつつあるという点に関しては、ヨーロッパにおける若者の大人への移行の脱標準化と共通する面も少なくない。

C：正社員というあり方が(長時間労働などの点もあるとはいえ)多くの実質的なメリットをもち、正社員とそれ以外の働き方の間で様々な条件が大きく異なるという状態、そしてそれと対応して、正社員というあり方が社会の中で基本であり中心的な働き方とされている(それ以外の働き方は周辺的なものとみなされている)状態は、過去のものになったとはいえない。

D：とはいえ、古典的な移行モデルがモデルとしての有効性を今後も保持し続けると想定するのは、日本においても現実的とはいえないだろう。

またある研究者によれば、フリーターをはじめとする非典型雇用が広がり、一般化する中で、正社員への離脱機会の少なさやキャリア上の年齢規範の変化などにより、フリーターにいわば「滞留」し、移行が進まなくなるというメカニズムが作動し始めているという。

1. A→B→D→C
2. A→C→B→D
3. C→A→D→B
4. C→B→A→D
5. D→C→A→B

【No. 4】 次の文の に当てはまるものとして最も妥当なのはどれか。

「わたし」という表現は、だれもがそれぞれに「わたし」であることへの理解を前提にしている。「わたし」はこのわたしについてのみならず、すべてのひとについて言われうるものであることへの理解、それが「わたし」という言葉を使えるための条件である。それは、「わたし」は「あなた」にとっては「あなた」であり、「あなた」は「あなた」にとっては「わたし」であるという相互性の理解であると言ってもよい。その意味で、「わたし」はこのわたしに由来するものではない。「わたし」はわたしだけのものではないのである。

「こころ」と呼ばれ「からだ」と呼ばれてきたものが「わたしのこころ」、「わたしのからだ」と呼ばれるとき、そこにはもう〈制度〉というものが挿し込まれていることは、以上のことからわかる。「わたし」という観念の配分、もしくは宛て先、つまりは帰属という問題がここには挿し入れられているからである。この「こころ」、この「からだ」はだれのものか、という問題である。

この「こころ」、この「からだ」がだれのものであるかという問題は、これまた自明のことではない。この「こころ」、この「からだ」はそれを生きている当の者、つまりは「わたしのもの」であるということとは観念的にはあたりまえのことのように見えるが、じっさいの感覚としては不明なところがある。まる一日、じぶんの身体を、あるいはその活動を、「わたしの」身体として生きているひとなどいない。わたしは日常の大半、だれかのために身体をせわしなく動かしている。「これはわたしの身体でありながらわたしのものではない」というのが、会社や家庭で働いている者の実感であろう。「わたしのものではない」というのが言い過ぎであるとしても、すくなくとも「わたし独りのものではない」とは実感しているはずだ。じぶんの思いどおりに身体を動かせたら(あるいは、遊ばせられたら)苦労はない、と。また、それらの活動のなかでも多くのばあい、身体は習慣というかたちで、動かすという意識もなしにいわば自動的に動いているものである。半身麻痺のばあいのように、身体の一部に感覚がおよばず動きがとれないこともある。そもそも随意運動がほとんど不可能なケースもある。

「こころ」の活動、つまり考えや思いについても、同様のことが言える。人びとが交換している言葉のなかに生まれ落ち、言葉の網の目のなかでみずからの考えや思いを紡いできたわたしたちにとって、。わたしの考えは人びとのあいだを流通する言葉によって編まれている。これまで読み聴きしてきたさまざまな言葉によって編まれている。厳密に言えば、わたしが独りで編みだした思想などというものはありえない。「わたしの」考えとはいえ、じつは「引用の織物」でしかないというのが、多くのひとがものを語り、書くときの正直な思いであろう。

1. 「わたしのこころ」だけがこのわたし独りのものと言える
2. わたしだけの言葉というものはそもそも存在しない
3. 「こころ」は、「わたしのからだ」によって動かされている
4. わたし独りの言葉を編みだすことが重要なのである
5. 言葉の帰属はつねに感覚的に判断されている

【No. 5】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

A forgotten bundle of love letters sent to French sailors more than 260 years ago — but never before opened or read — has been discovered among British naval archives, revealing intimate details of 18th-century marital and family life.

The remarkable stash of more than 100 letters was discovered by chance at the National Archives in Kew by Renaud Morieux, professor of European history at the University of Cambridge, who asked archivists if they could be opened so he could read them for the first time.

Inside, he found deeply personal and often passionate messages intended for the sailors, who had been captured in 1758 onboard a French warship during the Seven Years' War.

“I cannot wait to possess you,” wrote one naval wife, Anne Le Cerf, to her husband, Jean Topsent, a phrase that can be translated as “embrace” or “make love to you”. She signed her note “Your obedient wife Nanette”, an affectionate nickname. Topsent, a noncommissioned officer*, was imprisoned in England and would never receive the letter.

《中 略》

The letters were intended for the crew of the *Galatée*, which was sailing from Bordeaux to Quebec when it was seized by a British vessel and taken to Portsmouth, where they were imprisoned.

The French postal administration had been trying for months to deliver letters to the ship from the crew's loved ones, sending copies to ports in France — as was common practice at the time — in the hope of catching the vessel before it sailed. When it heard the *Galatée* had been captured, it forwarded the letters to the admiralty in London, hoping they would be passed on to the prisoners.

Instead, after establishing the correspondence contained nothing of military value, the British authorities put the unopened letters in storage, where they would be forgotten for centuries until discovered by chance by Morieux.

《中 略》

With 59% of the letters written by women, Morieux said they “shatter the old-fashioned notion that war is all about men. While their men were gone, women ran the household economy and took crucial economic and political decisions”.

He added: “These letters are about universal human experiences, they're not unique to France or the 18th century. They reveal how we all cope with major life challenges.”

(注) * noncommissioned officer : 下士官

1. 260 年以上前から英国海軍の記録保管所に保存され続けてきた 100 通以上の手紙を、手紙の名宛人の子孫である Morieux 教授が学芸員に頼んで探し出し、子孫として初めて読むこととなった。
2. Topsent の妻は、夫への手紙で「embrace」などと書くべきところを「possess you」と間違えて書いていた。その Topsent は英国で投獄中に死亡したため、手紙を受け取ることはできなかった。
3. フランス郵政当局は、Galatée 号の船員に宛てられた手紙を、同号の出航前に届けるべく港へ送ったが、同号は既に英国船に捕らえられていた。そこで、手紙はロンドンの海軍本部に転送された。
4. 戦争で夫が家を離れたため、家に残された妻は、経済的・政治的な決断を下すことができず苦労することとなった。そのため、公開された手紙の 59 % は夫にその判断を求めるものだった。
5. 今回公開された手紙は、特に七年戦争中のフランスの人々が、その時代特有の方法で、それぞれの人生の困難にどのように対処していたのかを示している点で、人類の大切な資料である。

【No. 6】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

Allocating^{*1} land for people to use is one of the most powerful tools a government can have. A newly published study by an MIT scholar now identifies the extent to which state land distribution can be a politically charged act.

The research, focused on Kenya in recent decades, challenges some conventional wisdom while bringing new empirical data to the subject. To explain the “property rights gap” in some countries — in which people do not own the land they work on — numerous scholars have concluded that many nation-states are too “weak,” and lacking in administrative capacity, to grant extensive rights.

This study finds something different: Even supposedly low-capacity states can grant land rights, but they generally choose not to, especially when autocratic^{*2} leaders are in charge. Instead, property rights are granted more frequently when democratic regimes are in power — though these decisions are made seemingly to bolster electoral support.

“It’s clear the state is very able and willing to give out property rights at certain moments in time, when it makes political sense for them,” says MIT political scientist Mai Hassan, co-author of a new paper detailing the study’s findings.

“We found that property rights were much more likely to be given out, and the property rights gap more likely to close, under electoral democracy,” Hassan adds. “During autocratic periods, if the property rights gap narrowed at all, the property rights gap was more likely to close only for the autocrats’ core supporters in society.”

The paper, “Closing the Gap: The Politics of Property Rights in Kenya,” is published in this month’s issue of *World Politics*. The authors are Hassan, an associate professor in MIT’s Department of Political Science, and Kathleen Klaus, an associate senior lecturer at Uppsala University in Sweden.

About one-third of all countries have attempted major land reforms in the last century, and many experts believe full property rights make land use more efficient and spur economic growth. However, scholars estimate that 2 billion people globally still farm land to which they have no formal rights.

Researching land rights grew out of ongoing work Hassan and Klaus have each conducted about Kenya for more than a decade.

“You can’t understand the Kenyan state without thinking about land and how it is administered, and who owns it, and the rules around ownership and property rights,” Hassan says.

(注) ^{*1} allocate : 分配する ^{*2} autocratic : 独裁的な

1. Hassan 氏らによる研究は、ケニア国民の実際のデータを用いた実証研究により、土地の所有権と政府の関係に関する従来の理論を裏付ける結果となった。
2. Hassan 氏らによる研究は、ケニアにおける土地の所有権の格差の大きさは、独裁的な政権の時代と民主的な政権の時代のどちらにおいても同程度であり、政権に影響されないことを示した。
3. Hassan 氏は、ケニアにおいて独裁的な政権の時代に土地の所有権の格差が小さくなる原因は、独裁者が、新たな支持者を獲得するために、低所得者へ土地の所有権を付与するためだと指摘している。
4. 前世紀には、世界の約 3 分の 1 の国において土地改革が行われたが、今なお世界で 20 億人の人々が、正式な権利を持たない土地で農業を営んでいると考えられている。
5. Hassan 氏は、ケニアにおいて土地の所有権の格差が生じる原因は、行政の管理能力が弱いことにあると指摘している。

【No. 7】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

Social media can be harmful. That's something all behavioral researchers can agree on. There is much less consensus on how exactly its harmful use is defined, and whether or not there's a corresponding beneficial way to use social media. And at the very center of this academic debate is the question: Can a person become addicted to social media?

Settling on an answer to this question has a surprising number of implications: for the internet, for policy, and even for people who suffer from or treat more well-defined forms of addiction. Attempts to do so have resulted in fairly conflicting findings, explains Niklas Ihssen, an associate psychology professor at Durham University in the U.K. In particular, some studies suggest abstaining from^{*1} social media can improve mood and well-being, while others seem to argue that stepping away from the screens can cause serious withdrawal effects that mirror those present in chemical addictions. "There's tension between those two strands of research," Ihssen says.

A new study, led by Ihssen's postgraduate student Michael Wadsley and published Nov.8 in the journal *PLOS ONE*, attempts to reconcile this conflict. Using activity-tracking apps and surveys, Wadsley and Ihssen followed 51 students for 15 days, including a week during which they were instructed to avoid social networking sites including Facebook, Instagram, and TikTok. The participants were then brought in for final surveys and exercises afterward. Around a third of the participants had existing social-media behaviors that qualified as problematic, or harmful to their functioning, on the most widely-accepted scale of social-media behavior.

Wadsley and Ihssen searched in the participants' responses for symptoms of withdrawal in line with those found in substance-use disorders, such as relapses^{*2} and increased consumption following abstinence^{*3}. Though 87% of the participants weren't able to stay off of social media entirely, their use time decreased to an average of 30 minutes, down from between three and four hours per day, and remained lower than before even after the week of abstinence had passed. "If there's something like withdrawal, we would expect those cravings to go up after a while," says Ihssen. But in both usage time and in the results of a test given to participants at the end of the week that recorded their reactions to seeing social media app icons, the sharp craving the chemical effects of withdrawal can cause just didn't manifest as expected.

(注) ^{*1} abstain from : ~を控える

^{*2} relapse : 再発、ぶり返し

^{*3} abstinence : 自制、禁欲、節制期間

1. ソーシャルメディアは有害である可能性があることについては、全ての行動科学の研究者が合意するものの、その利点については、研究者間で二分化した論争があり、双方譲らずに数年間の緊張状態が続いている。
2. ソーシャルメディアへの依存症に苦しみ治療を求める患者からの訴えに基づき、依存症の定義と治療法を確立するための学術的な研究が、英国で初めて開始された。
3. 研究結果に基づき、ソーシャルメディアへの接触を抑制することにより気分の改善を図る治療法や、化学物質を投与する治療法など、依存症に対するいくつかの治療法が推奨されている。
4. Wadsley と Ihssen は、ソーシャルメディアに関する研究において、インスタグラムなどのソーシャルネットワーキングサイトを 1 週間避けるよう参加者に指示し、その後の参加者の反応を調べた。
5. 英国の約 3 分の 1 の国民がソーシャルメディア行動において禁断症状など何らかの問題を有することを明らかにした Wadsley と Ihssen の研究は、学术界で高い支持を得ている。

【No. 8】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

Most people don't realise just how many pollutants are swirling around indoors, where they typically spend most of their time. For example, many of the products we use for cleaning and freshening our homes, schools and workplaces are adding invisible toxins to the air.

《中 略》

Indoor air pollution is highly complex, little regulated, and often beyond individual control. For instance, road traffic produces nitrogen dioxide, while moisture and structural issues in buildings can lead to mould. Air purifiers with high efficiency particulate air (HEPA) filters can help. But the initial cost plus the energy to run them can be out of reach for some households.

This is one reason that it's so appealing to think of potted plants as passively, and inexpensively, cleaning the air. Essentially, plant leaves take in carbon dioxide and other pollutants, which are then used in various plant processes or broken down.

Especially important here are the community of micro-organisms and the growing medium (such as soil or compost), which in many studies do more to absorb pollutants than the plant itself. An influential NASA study from 1989 found that indoor plants could remove formaldehyde^{*1} and other volatile organic compounds (VOCs)^{*2} from the air. But the study was unrealistic for real-world conditions.

In essence, an indoor forest would be required to meaningfully reduce VOCs in a home. "You need an awful lot of plants in very well-lit space to make any measurable impact on the removal of VOCs and many other gases," says Tijana Blanus, the principal horticultural scientist for the Royal Horticultural Society, as well as a researcher at the University of Reading. Similarly, for carbon dioxide, "you need very large numbers of plants to actually have measurable effects at room scale." So is scaling-up the answer?

Some researchers, including Tijana Blanus, have moved on from individual potted plants to active (living) green walls, which can concentrate more plants and also filter air more efficiently due to the way air can be moved through them. She explains that with active green walls: "Air from the room is being pushed or encouraged through the root systems over and above the level which would happen naturally if you just had the plants sitting in a pot." However, such green walls are expensive to install and maintain.

(注) ^{*1} formaldehyde : ホルムアルデヒド

^{*2} volatile organic compounds (VOCs) : 揮発性有機化合物

1. 人々が空気を新鮮だと感じる時には、その空気中に、植物が放出する特定の化学物質が浮遊している。
2. 室内の空気汚染の仕組みは長らく不明とされていたが、近年の研究により、室内の湿度や構造の問題などが原因であることが発見されたため、個人による対策がしやすくなった。
3. NASA による過去の実験によって、植物本体が吸収する空気中の汚染物質の量は、土壌や植物の葉に生息する微生物が吸収する汚染物質の量を上回ることが示された。
4. 空気中の揮発性有機化合物などを減少させるために室内に植物を置く場合、大量の植物を置かない限りは、実質的な効果は期待できない。
5. HEPA フィルターは、グリーンウォールと比べて、空気洗浄の面では高い効果が得られるものの、維持費用が高いという欠点がある。

【No. 9】 次の文のA、B、Cに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

Few of us start the day without a to-do list, but they can hurt as much as they help. For every item checked off, another hits an unexpected obstacle and two more tasks get added. By the end of the day, our to-do list is often longer than it was in the morning, deflating any sense of progress.

Taking the opposite tack — a “done” list — can give you that burst of motivation that to-do lists sometimes fail to inspire, die-hard practitioners say. Instead of obsessing over what you *still have* to do, take an inventory of everything you’ve *already* A.

The idea is to recognize small wins, no matter how mundane. Together, they can add up to a greater sense of achievement, says Gretchen Rubin, who has written books about happiness and forming good habits.

Rubin calls hers a “ta-da” list. At the end of every year she and some friends gather to write them. They get out pads of paper, review their calendars, and compare notes about progress they’ve made toward their goals.

“You remind yourself of how much you’ve already accomplished, which is often really surprisingly easy to forget,” she says.

Often we try to motivate ourselves by focusing on a big, long-term goal like getting a new job or a new place to live. Trouble is, big accomplishments don’t happen every day, says Teresa Amabile, a Harvard Business School professor who co-wrote *The Progress Principle*, a book about finding joy in B at work. And long-term goals can leave room for discouragement to set in.

Smaller doses of progress can motivate us to do bigger things, she says, adding that managers can harness the principle, too. In a study, Amabile and her co-researcher, Steven Kramer (who is also her husband), asked more than 200 white-collar workers to write daily diary entries about the work they did, their emotions and other details about their workdays. The diaries showed that C a meaningful goal was the most common factor when people reported feeling happy in their work lives, which, in turn, is a key performance driver. Even an incremental step forward counted.

A	B	C
1. <i>done</i>	small victories	making progress on
2. <i>done</i>	big accomplishments	making progress on
3. <i>done</i>	big accomplishments	improving your to-do list for
4. <i>planned</i>	small victories	making progress on
5. <i>planned</i>	big accomplishments	improving your to-do list for

【No. 10】 次の と の文の間に、ア～オを並べ替えて続けると意味の通った文章になるが、その順序として最も妥当なのはどれか。

A nudge is not always enough to force change within an industry. Sometimes a series of forceful shoves is required. In the rarified world of Western philanthropy*, the shoves began in 2020. The covid-19 pandemic, protests for racial justice across America that summer and the outflow of refugees from Ukraine starting in early 2022 created a new urgency around charitable giving and revealed failings in how it worked. Donors began to consider how they could disburse money faster and with more impact.

ア： In the same year, she announced that she would give the money away “until the safe is empty”. As global problems spread in 2020, Ms Scott started handing out big grants, to organisations in America and across the world, with no strings attached. Without making any big declaration or setting up a charitable foundation, the quiet billionaire has since shelled out \$16.5bn.

イ： The reason Ms Scott could give so much so quickly is that she did away with the hoop-jumping and form-filling that have long defined philanthropy, especially for the past 20 years.

ウ： Just as the storm of global events was raging, a poster child for the new movement emerged. MacKenzie Scott received a 4% stake in Amazon when she and its founder, Jeff Bezos, divorced in 2019. It was worth \$38bn.

エ： For comparison, Chuck Feeney, an American duty-free tycoon who was one of the most generous philanthropists of recent times, had given out \$8bn by the time of his death in October. Andrew Carnegie, a 19th-century industrialist, gave away \$350m, worth \$6.2bn today.

オ： There was no lengthy application process to receive a grant from her. She contracted an independent firm to help her with strategy, do due diligence to check up on the NGOs, and then donate the money. Crucially, she decided not to police every decision recipients made in the name of monitoring and evaluation.

This kind of “no-strings giving” is not completely new. The William and Flora Hewlett Foundation, set up by a tech tycoon, has long given “unrestricted” grants that do not specify how they must be used. Since 2015 the Ford Foundation has put \$2bn into its Building Institutions and Networks (BUILD) programme, which hands recipients five years of funding, including a chunk of money dedicated to investments in the organisations themselves.

(注) * philanthropy：慈善行為

1. ア→ウ→エ→オ→イ
2. イ→ウ→ア→オ→エ
3. イ→エ→ア→ウ→オ
4. ウ→ア→エ→イ→オ
5. ウ→イ→ア→オ→エ

【No. 11】 学生 50 人を対象に、日本史、東洋史、西洋史の 3 科目の履修状況について調査したところ、次のことが分かった。このとき、論理的に確実にいえるのはどれか。

- 学生全員が 1 科目以上履修している。
- 西洋史を履修している学生は、東洋史を履修していない。
- 日本史を履修していない学生は、12 人である。
- 日本史と西洋史の 2 科目のみを履修している学生の人数は、東洋史 1 科目のみを履修している学生の人数の 2 倍である。
- 東洋史を履修している学生の人数と、西洋史を履修している学生の人数は、共に 20 人である。

1. 日本史と西洋史のいずれも履修していない学生は、2 人である。
2. 日本史を履修しているが西洋史を履修していない学生は、12 人である。
3. 東洋史を履修しているが日本史を履修していない学生は、8 人である。
4. 3 科目とも履修している学生は、1 人である。
5. 西洋史のみを履修している学生は、6 人である。

【No. 12】 1～6の数字が一つ書かれたカードがそれぞれ2枚ずつ、合計12枚ある。いま、A～Dの4人にこれらのカードが3枚ずつ配られた。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- A～Dのうちどの2人の組合せでも、同じ数字が書かれたカードが1枚ずつ配られており、BとCの組合せでは、その数字は3であった。
- Aに配られた3枚のカードに書かれた三つの数字は連続していた。
- Bには6が、Cには5が、Dには4が書かれたカードがそれぞれ配られた。

1. Aには、5が書かれたカードは配られていない。
2. Bには、2が書かれたカードは配られていない。
3. Cには、1が書かれたカードは配られていない。
4. Cには、4が書かれたカードが配られた。
5. Dには、1が書かれたカードが配られた。

【No. 13】 図のように、A～Eの五つの箱が横一列に並んでいる。最初、これらの箱はいずれも空であり、次の①～④の手順でこれらの箱に果物を入れていく。

- ① 箱Cにモモを2個入れ、箱Dにマンゴーを3個入れる。
- ② 箱A～Eの中から三つの箱を選び、リンゴをそれぞれの箱に1個ずつ入れる。
- ③ 箱A～Eの中から三つの箱を選び、ミカンをそれぞれの箱に1個ずつ入れる。
- ④ 箱A～Eの中から一つの箱を選び、キウイを2個入れる。



ここで、①～④の手順に従い果物を入れ終えたときの箱の状態について次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- ☐ 全ての箱に奇数個の果物が入っている。
- ☐ ある一つの箱には、4種類の果物が入っている。

1. 箱Cにはリンゴが入っている。
2. 箱Cには2種類の果物が入っている。
3. 箱Bにはキウイが入っている。
4. モモはキウイと同じ箱に入っている。
5. 果物が1種類のみ入っている箱の数は二つである。

【No. 14】 ある大学にはA～Eの五つの野球チームがあり、年度ごとに対戦成績の順位(1～5位)を競っている。これらのチームの令和3～5年度の順位について次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

ただし、いずれの年度においても、二つ以上のチームが同じ順位になることはなかったものとする。

- 令和3～5年度において、Aは3位以下になったことはなく、また、B、Dは2位以上になったことはない。
- 令和3年度と令和4年度の順位が変わらなかったチームが三つある。また、全てのチームについて、令和4年度と令和5年度の順位は異なっている。
- Cについて、令和4年度は令和3年度よりも三つ順位が下がった。
- Eについて、令和4年度は令和3年度よりも三つ順位が上がったが、令和5年度は令和4年度よりも四つ順位が下がった。

1. 令和3年度のAの順位と令和5年度のCの順位は同じだった。
2. 令和4年度のDの順位は5位だった。
3. 令和5年度のBの順位は3位だった。
4. Cについて、令和5年度は令和4年度よりも順位が下がった。
5. Dについて、令和5年度は令和4年度よりも順位が上がった。

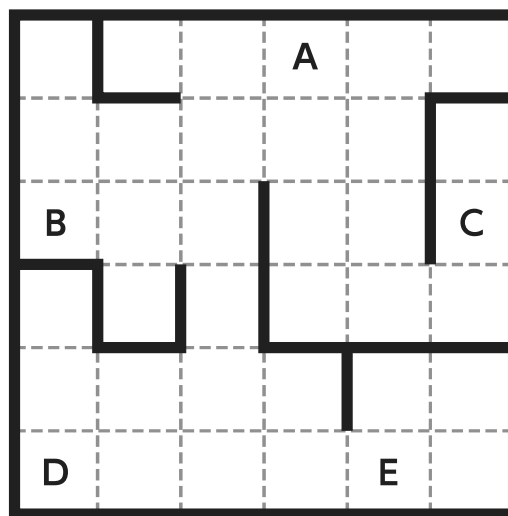
【No. 15】 ある会社で、次の性能を持ったエアコンを図Ⅰのフロアに導入する。A～Eを含む36区画のうち、五つの区画にエアコンを設置することで、フロア全域がエアコンの空調範囲内となり、かつ、各エアコンの空調範囲が重複しないようにする。このとき、エアコンを設置する五つの区画のうちの二つを挙げているのは、次のうちではどれか。

ただし、エアコンの空調効果は、図の区画単位で及ぶ。また、図の区画に沿った実線は天井まで達するフロアの壁を表しており、点線の箇所には壁は無い。

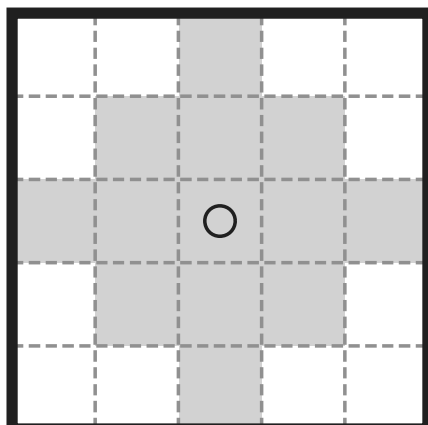
<エアコンの性能>

- ・ エアコンは天井に設置するタイプであり、フロア内のどの区画にも設置が可能である。
- ・ エアコンの空調範囲は、図Ⅱの灰色で示す範囲のように、エアコンを設置した区画(○の区画)から縦横に2区画先、斜めに1区画先までの範囲である。
- ・ エアコンの空調効果は壁を越えて広がらない。例えば、図Ⅲのような壁のあるフロアにおいて、○の区画にエアコンを設置したときの空調範囲は、灰色で示された範囲である。

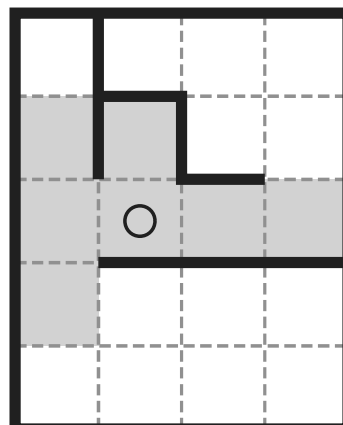
図Ⅰ



図Ⅱ

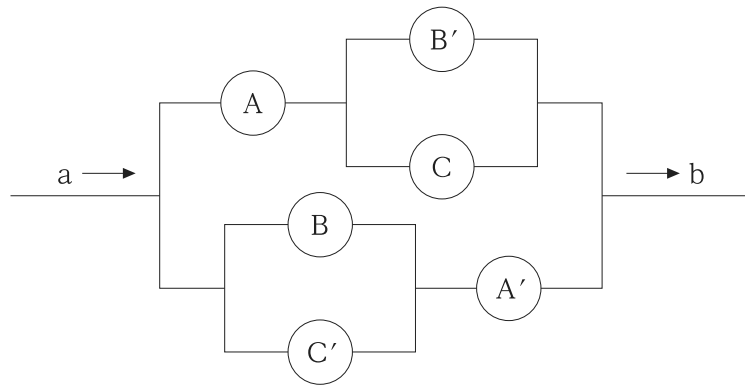


図Ⅲ



1. A、B
2. A、E
3. B、C
4. C、D
5. D、E

【No. 16】 図のように、a から b へ水が流れる水路があり、A、B、C、A'、B'、C' は水門である。水門が開いているときは水が流れ、閉じているときは水が流れない。また、A が開いているときは、A' は閉じており、A が閉じているときは、A' は開いている。B と B'、C と C' の関係も同様である。a から b へ水が流れないときの A、B、C の状態の組合せとして正しいのは、次のうちではどれか。

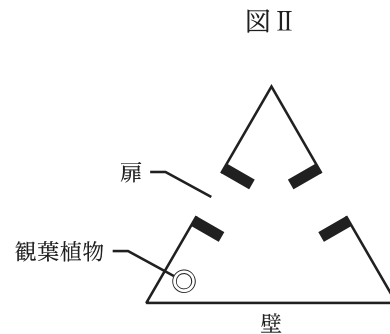
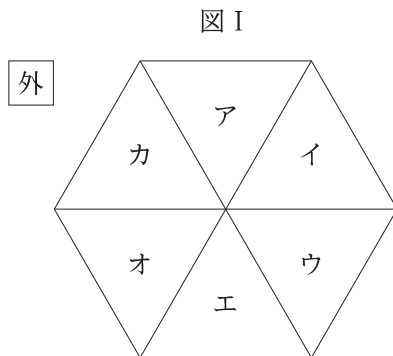


- | A | B | C |
|----------|-------|-------|
| 1. 閉じている | 開いている | 閉じている |
| 2. 閉じている | 開いている | 開いている |
| 3. 開いている | 閉じている | 閉じている |
| 4. 開いている | 閉じている | 開いている |
| 5. 開いている | 開いている | 閉じている |

【No. 17】 図 I のような、ア～カの六つの正三角形の部屋が隣り合わせになっている家の見取図がある。それぞれの部屋には、扉が二つと観葉植物が一つあり、それぞれの部屋の見取図は、そのままの向きで、又は裏返さずに回転させると、図 II に一致する。

いま、これら六つの部屋に A～F の 6 人が 1 人ずつ住んでおり、各人の部屋について次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- A はオに住んでおり、F はカに住んでいる。
- B の部屋から E の部屋までは、C の部屋とその隣の D の部屋を経由することで、家の外に出ずに移動することができる。
- C の部屋から F の部屋までは、家の外に出ずに移動することはできない。
- E 及び F の部屋の観葉植物は、どちらも家の外に面していない。
- どの部屋についても隣り合う部屋どうしで扉と壁が重なることはない。



1. A の部屋の観葉植物は、家の外に面していない。
2. A の部屋から D の部屋までは、他の部屋を経由することで、家の外に出ずに移動することができる。
3. B の部屋の観葉植物は、家の外に面している。
4. B の部屋の隣の部屋に、A が住んでいる。
5. C の部屋の観葉植物は、家の外に面していない。

【No. 18】 AとBの2人がじゃんけんを用いたゲームをする。次のルールでじゃんけんを繰り返し、ちょうど10回目のじゃんけんでゲームが終了したとき、0点になった人は何回じゃんけんに勝ったか。

[ルール]

- AとBが共に5点を持っている状態から始めてじゃんけんを繰り返し、どちらかが0点になったときにゲームを終了する。
- 1回のじゃんけんにおいて、勝った人は2点を得て、負けた人は1点を失う。あいこの場合も1回のじゃんけんと数え、両者が共に1点を得る。

1. 1回
2. 2回
3. 3回
4. 4回
5. 5回

【No. 19】 1～16のそれぞれ異なる整数を 4×4 のマス目の一つずつ入れて、縦、横、対角線に並ぶ四つの数の和がいずれも34となるように配置する。整数が配置されていない図のマス目全てに整数を一つずつ入れたとき、A、B、Cのマス目の数の和はいくつか。

12		A	
	9		15
1	C	7	
	4	11	B

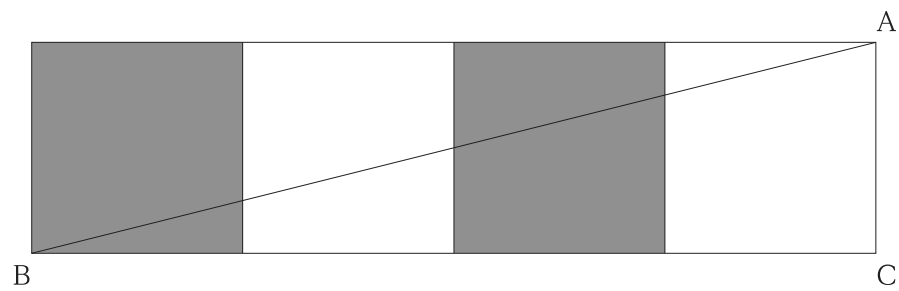
1. 27
2. 28
3. 33
4. 35
5. 36

【No. 20】 ある池からポンプを用いて水を全て排出し、池を空にする。排水作業に用いるポンプは全て同じ能力で、起動から排水開始までに一定の始動時間を要し、ポンプの起動から池を空にするまでに要する作業時間は、1 台用いた場合は 90 分、同時に 3 台用いた場合は 40 分である。この作業時間を 20 分ちょうどとするには、ポンプは何台必要か。

ただし、この池はポンプによる排水以外に水の流出入はなく、ポンプの排水開始から排水完了までの間の排水能力は一定とし、ポンプの始動時間はポンプの台数には影響されず、一定の始動時間後に一斉に排水を開始するものとする。

1. 5 台
2. 6 台
3. 8 台
4. 9 台
5. 15 台

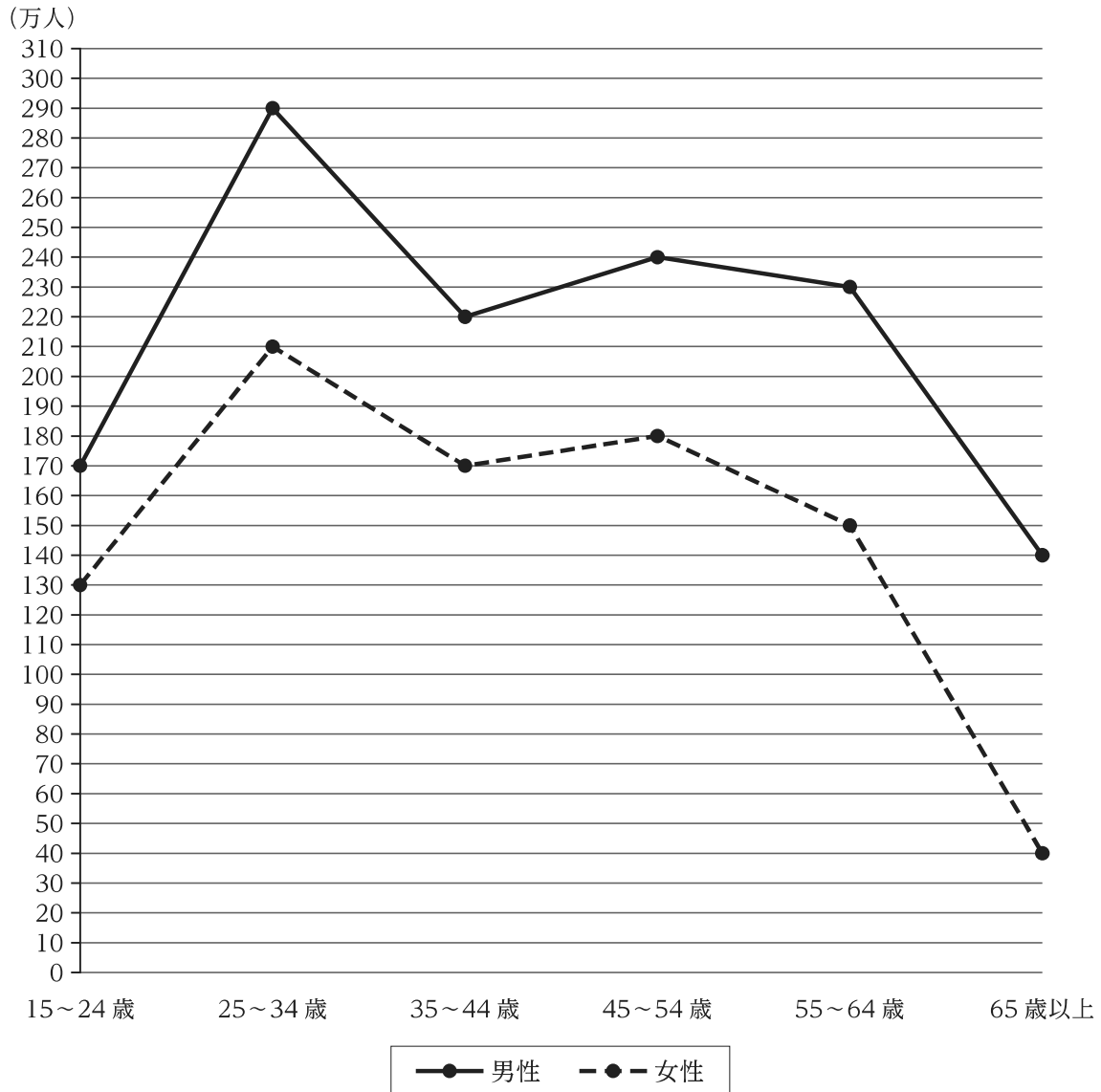
【No. 21】 図は、一辺の長さが 20 cm の白と黒の正方形を交互に四つ横に並べたものである。このとき、三角形 ABC の内部にある白の部分の面積はいくらか。



1. 480 cm^2
2. 500 cm^2
3. 520 cm^2
4. 540 cm^2
5. 560 cm^2

【No. 22】 図は、ある国の 2022 年における年齢階層別の完全失業者数を男女別に示したものである。これから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

なお、完全失業者とは、15 歳以上の労働力人口のうち、就業者を除くものをいう。



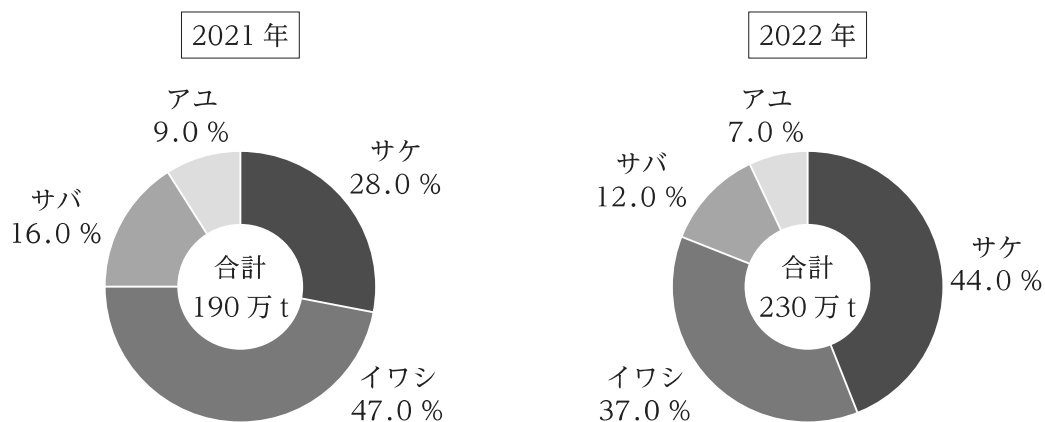
1. 年齢階層別に男性の完全失業者数に対する女性のその割合についてみると、「65 歳以上」を除く全ての年齢階層で 70 % を上回っている。
2. 男女別に、それぞれの完全失業者数全体に占める年齢階層別の完全失業者数の割合についてみると、割合が最も大きい年齢階層でも、男女共に 20 % を下回っている。
3. 20 歳代の完全失業者数についてみると、男性の方が女性よりも多い。
4. 女性の完全失業者数全体に占める女性の年齢階層別の完全失業者数の割合(%)についてみると、「25～34 歳」の割合は「45～54 歳」の割合を 10 ポイント以上上回っている。
5. 男女あわせた完全失業者数全体のうち、55 歳以上の者が占める割合は 20 % を上回っている。

【No. 23】 表は、ある国の 2013～2022 年における、漁業生産量及び養殖業生産量の推移を示したものであり、図Ⅰ及び図Ⅱは、2021 年と 2022 年における、漁業生産量及び養殖業生産量のそれぞれの魚種別割合を示したものである。これらから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

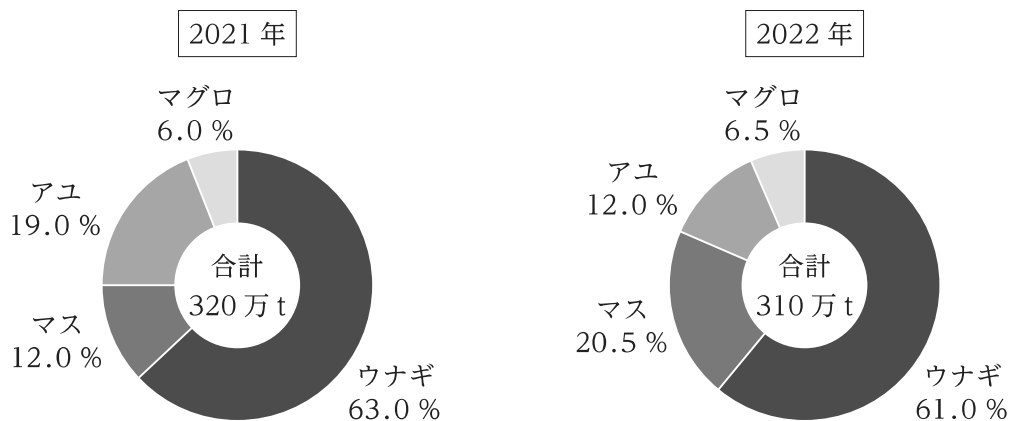
表 漁業生産量及び養殖業生産量の推移
(単位：万 t)

年次	合計	漁業	養殖業
2013 年	616	311	305
2014 年	648	313	335
2015 年	690	330	360
2016 年	632	280	352
2017 年	631	255	376
2018 年	571	270	301
2019 年	533	220	313
2020 年	514	224	290
2021 年	510	190	320
2022 年	540	230	310

図Ⅰ 漁業生産量の魚種別割合



図Ⅱ 養殖業生産量の魚種別割合



1. 2013～2022 年についてみると、漁業生産量と養殖業生産量の合計に占める養殖業生産量の割合が最も高いのは、2019 年である。
2. 2014～2022 年についてみると、養殖業生産量の対前年増加率が最も大きいのは、2014 年である。
3. 2022 年についてみると、アユの養殖業生産量の前年からの減少量は、アユの漁業生産量のそれよりも 15 万 t 以上多い。
4. 2022 年についてみると、ウナギの養殖業生産量の前年からの減少量は、6 万 t よりも少ない。
5. 2022 年についてみると、養殖業生産量が前年よりも増加している魚種はない。

【No. 24】 表は、ある国のA～H地域における2007年と2022年の森林面積、人工林面積、国有人工林面積を示したものである。これから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

(単位：ha)

	森林面積		うち人工林面積		うち国有人工林面積	
					2007年	2022年
	2007年	2022年	2007年	2022年	2007年	2022年
A地域	5,538,469	5,536,144	1,505,246	1,456,447	665,357	636,499
B地域	634,445	633,209	274,355	263,477	160,330	155,252
C地域	1,174,467	1,169,302	502,035	481,800	115,604	103,913
D地域	839,183	839,290	410,115	406,591	137,511	130,791
E地域	667,238	669,218	184,331	184,647	68,353	64,202
F地域	861,586	855,084	163,953	161,125	154,174	149,030
G地域	1,059,821	1,066,951	445,965	442,927	61,853	60,022
H地域	612,897	611,576	199,230	201,493	27,567	26,480

- 2022年についてみると、A～H地域のうち、森林面積に占める人工林面積の割合が最も大きい地域は、森林面積に占める国有人工林面積の割合も最も大きい。
- 2022年についてみると、A～H地域のうち、森林面積に占める人工林面積の割合が最も小さい地域は、人工林面積に占める国有人工林面積の割合が最も大きい。
- A～H地域のうち、2007年に比べて2022年の森林面積が減少している地域は、人工林以外の森林面積も減少している。
- A～H地域のうち、2007年に比べて2022年の森林面積が減少している地域は、森林面積に占める人工林面積の割合も減少している。
- A～H地域のうち、2007年に対する2022年の森林面積の増加率が最も大きい地域は、人工林面積のそれも最も大きい。

【No. 25】 我が国の動植物などをめぐる状況に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 近年、ニホンカモシカが北海道で、ニホンジカが東北で、ツキノワグマが九州で急激に増加し、農村地域に出没して農作物などに被害をもたらしている。一方、駆除した野生のシカやクマの食肉であるジビエを使った料理を提供する飲食店が増加している。一般に、シカなどの野生動物の食肉は、豚などの家畜の食肉よりも脂肪分が多く高カロリーで硬い部位の肉が多いため、アミラーゼなどの脂肪分解酵素を利用して軟化する食肉処理が行われている。
2. マングース(フイリマングース)は、かつてハブを駆除するため、その捕食者として沖縄本島や奄美大島などの南西諸島の島々に導入された。しかし、アマミノクロウサギやアホウドリなどの希少種を捕食するなど生態系への影響が懸念され、現在、マングースの駆除作業が行われている。沖縄本島ではマングースの駆除に成功し、環境省は令和 5 (2023) 年に絶滅宣言を出したが、奄美大島では駆除作業を継続中である。なお、生態系において、アマミノクロウサギは消費者に、マングースは分解者に位置付けられる。
3. 現在、絶滅の危機にある動物を動物園や水族館で飼育・繁殖して、野生復帰させる取組が行われ、ニホンライチョウ、ラッコがそれぞれ、富士山、襟裳岬にて、野生に放されている。特に、富士山ではニホンライチョウの放鳥が順調に進み、令和 5 (2023) 年夏に、野生個体が 100 羽以上見られるようになった。富士山は、成層火山に分類され、二酸化ケイ素の割合が高い溶岩が緩やかに広く流れ出す噴火を長期にわたって繰り返しており、最後に噴火したのは大正時代である。
4. 令和 4 (2022) 年秋から翌年春にかけて、鳥インフルエンザウイルスが引き起こす高病原性鳥インフルエンザの発生が確認され、多数の採卵鶏が処分された。鳥インフルエンザの発生や飼料価格の高騰などの影響により鶏卵の価格が高騰し、令和 5 (2023) 年の全国消費者物価指数のうち、鶏卵の指数は前年比で 20 % 以上上昇した。なお、一般に、インフルエンザウイルスにはその表面の物質の微細な違いによって様々な型があり、型が異なると、獲得免疫(適応免疫)における免疫記憶の効果を発揮しにくい。
5. スギ花粉症は、スギの花粉に含まれる物質をリンパ球によって抗体として認識し、血液中の血小板が作るグルテンが花粉と結合することによって起こるアレルギー反応である。令和 5 (2023) 年、農林水産省は、花粉の発生源対策として里地里山のスギを皆伐し花粉の発生を抑えることとし、あわせて、その伐採跡地を農地や草地に転換し生物多様性の向上につなげることで、里地里山の保全活用の取組を図る里地里山保全活用行動計画を策定した。

【No. 26】 我が国の社会を取り巻く状況などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 令和 5 (2023) 年 4 月から、個人情報保護法、行政機関個人情報保護法、情報公開法の三つの法律を統合した新個人情報保護法が施行され、民間企業や国の行政機関に統一のルールが適用されることとなった。一方、自治体の個人情報保護条例については、各自治体のルールを統一するのではなく、それぞれの実態に応じた運用を行うこととされた。平成 25(2013)年には、個人情報のうち、クレジットカード番号や銀行口座番号など、特に機密性が高い情報を保護するため、特定秘密保護法が制定されている。
2. 被扶養者が一定金額を超える年収を得た場合、その被扶養者を雇う事業者に課される法人税率が上がるため、事業者が労働時間を抑えるよう調整を行う場合があり、この年収の額をいわゆる「年収の壁」という。令和 5 (2023) 年 10 月から、政府は「年収の壁」対策のため、被扶養者である従業員の年収の額にかかわらず、事業者に一定の法人税を課すこととした。税制度に関しては、1950 年代、我が国ではシャープ勧告により、金と円の交換停止や間接税中心の税制改革が行われた。
3. 令和 5 (2023) 年の 1 年間の刑法犯認知件数は約 200 万件と、戦後最少となった。背景として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、人の流れが回復しなかったことや、インターネットバンキングを悪用した不正送金の対策が強化されたことなどが挙げられる。インターネット上のコンピュータどうしは、HTML と呼ばれる、四つの階層から成るプロトコル群に基づき、32 文字のアルファベットから成る IP アドレスを互いに認識することで、情報をやり取りしている。
4. 令和 6 (2024) 年 1 月に発生した令和 6 年能登半島地震では、マグニチュード 7.0、最大震度 6 弱の揺れが観測され、大きな被害が発生した。この地震では、能登半島沖の活断層がずれ動き、能登地方の各地で地盤の隆起や津波の発生が確認された。活断層とは、断層のうち最近数千年間に繰り返し活動している断層のことをいい、断層の種類には、圧縮力が働くことで断層の上側の地盤がずり上がる正断層と、引っ張りの力が働くことで断層の上側の地盤がずり下がる逆断層がある。
5. 令和 6 (2024) 年 2 月、東京株式市場における日経平均株価の終値は、バブル経済期の 1980 年代末に付けた最高値を上回り、翌 3 月には、史上初の 4 万円台を記録した。株価とは、株式会社が発行する株式の証券市場での価格であり、株式会社においては、株主は資本金を提供するだけであり、会社が倒産しても債権者に対して各株主の出資分以上の法的責任を負わず、これを株主の有限責任という。

【No. 27】 世界の映画祭や国際コンクールなどに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 2023 年 5 月、ベルリン国際映画祭、東京国際映画祭と共に世界三大映画祭の一つとして知られるカンヌ国際映画祭が開催され、映画「おくりびと」は日本映画で初めて脚本賞を受賞した。カンヌは、フランスの南西部に位置するゴールドコーストの海岸保養都市で、周辺には歴史的遺跡が多数あり、ユネスコ世界遺産に登録されている。フランスからは、ピサのドゥオモ広場やポンペイの遺跡地域など、世界最多の世界遺産が登録されている。
2. 2023 年 6 月、世界三大音楽コンクールの一つとして知られるチャイコフスキー国際コンクールがロシアで行われたが、同国のウクライナ侵攻の影響により、欧米からの参加者が減少した。日本人は過去に、同コンクールのバイオリン部門などにおいて優勝している。チャイコフスキーは、ヨーロッパ音楽の伝統様式を継承・発展させてロシア音楽を普遍的芸術にまで高めた 19 世紀のロシアの作曲家で、代表作には、バレエ音楽の「白鳥の湖」や「くるみ割り人形」などがある。
3. 2024 年 2 月、世界の若手バレエダンサーの登竜門として知られるローザンヌ国際バレエコンクールの決勝がスイスで行われ、日本人出場者が初めて入賞した。いかなる国際紛争にも参加せず、軍事同盟にも入らない国家を中立国といい、条約などによって他国に中立国の地位を認められた永世中立国として、スイス、フィンランド、オーストリアの三か国があったが、このうちオーストリアは、2023 年に中立政策を転換し、同年 4 月に NATO に加盟した。
4. 2024 年 3 月、米国映画界で最高の栄誉とされるアカデミー賞の授賞式がロサンゼルスで行われ、日本人監督による 2 本の映画作品が、それぞれ視覚効果賞と長編アニメーション賞を受賞した。いずれの賞も、日本人の映画監督の作品が受賞するのは今回が初めてである。ロサンゼルスのある米国西海岸に位置するカリフォルニア州は、偏西風と沖合を流れるベンゲラ海流の影響を受ける西岸海洋性気候のため、冬でも暖かく、一年を通じて降水が見られ、他の温帯気候の地域と比べて年降水量が多くなっている。
5. 2025 年 10 月、5 年に 1 回開催されるショパン国際ピアノコンクールが、ショパンの出身地ポルトガルで開かれる予定である。また、ポルトガルでは、同国出身のフランツ・カフカを記念した文学賞が毎年授与されている。ショパンやカフカが活動した 19 世紀前半には、プロイセンの首相ビスマルクが、普墺戦争でオーストリアを破った後、普仏戦争でナポレオン＝ボナパルト率いるフランスにも圧勝し、フランス第二帝政が崩壊した。

【No. 28】 近年の国際情勢などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 2022 年、我が国は、いわゆる安保 3 文書と呼ばれる、国家安全保障戦略、国家防衛戦略、経済安全保障推進法案を閣議決定した。経済安全保障推進法では、2027 年度の防衛費を対 GDP 比で 2 % とする方針と反撃能力(敵基地攻撃能力)の保有が明記された。防衛費については、1980 年代に中曽根康弘内閣において、GNP(国民総生産)比 1 % 以内とすることが定められた。
2. 2023 年、ASEAN(東南アジア諸国連合)加盟国の各国軍は、ASEAN の枠組みとして初めてとなる合同演習を南シナ海で行った。南シナ海では、南沙諸島(スプラトリー諸島)と西沙諸島(パラセル諸島)を中心とした領有権をめぐる問題があり、中国は人工島を建設するなど軍事拠点化を進めている。我が国は、第二次世界大戦において、米領フィリピンや英領ビルマで米英軍と戦うなどして、一時は東南アジア一帯をほぼ占領し、その範囲に両諸島も含まれていた。
3. イスラエルとイスラム組織ファタハによる、パレスチナ自治区ガザ地区をめぐる戦闘が激化し、ガザの保健省によると、2024 年 5 月時点でガザの死者数は 3 万人を超えた。イスラエルは第一次世界大戦後に英国から独立を宣言したが、これを認めないアラブ諸国と数次にわたる戦争が繰り返されている。特に、1980 年代の第 2 次中東戦争の際に起きた石油危機は経済面においても世界に大きな影響を与えた。
4. 2014 年、ロシアは、ウクライナ南部のクリミア半島に侵攻し、自国領に組み入れた。翌年、両国の隣国であるチェコでミンスク合意が結ばれ、ロシアによるクリミア半島の領有をウクライナが認める代わりに、親ロシア派武装勢力が実効支配するウクライナ南部 2 地域からロシア軍が撤収することが定められた。その後、2022 年、南部 2 地域の独立を承認したロシアは、ウクライナに侵攻した。
5. 2024 年、米国は、黒海で商船への攻撃を繰り返すイエメンの反政府武装組織フーシの拠点を攻撃した。フーシは、イスラム教スンナ(スンニ)派系の一派の組織であり、スンナ派の人口が多いイランや、レバノンのスンナ派民兵組織ヒズボラから支援を受けているとされる。スンナ派と、世界のイスラム教徒人口の大部分を占めるシーア派は、指導者の選出方法については意見が一致しているが、唯一神、預言者、聖典などの根本教義については意見が異なる。

【No. 29】 こどもをめぐる状況などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 2022 年、こども家庭庁設置法が成立し、同時に、国連の子どもの権利条約に対応したこども基本法が成立した。子どもの権利条約は、12 歳未満のこどもの基本的人権の国際的保障を目的とした条約で、女子差別撤廃条約と共に国連発足時の 1945 年に採択された。こども基本法は、心身の発達の過程にある 18 歳未満の者を「こども」と定義し、こどもに関する政策の基本理念などを定めている。
2. 2015 年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」では、17 の目標の一つに貧困をなくすことを掲げている。SDGs の採択を受け、我が国では実施指針の一つとして、子どもの貧困対策法を制定し、こどもの貧困問題に取り組んでいる。しかし、2021 年の我が国のこどもの相対的貧困率は 20 % を超えており、この数値は G7 各国の中で最も高い。また、2022 年の 15 歳以上 24 歳以下の完全失業率は 8 % を超えている。
3. 合計特殊出生率は、一人の女性が一生の間に出産するこどもの数の平均を表したもので、我が国では、1990 年代まで合計特殊出生率 2.1 以上を維持してきたが、2000 年代以降は 2.1 を下回る状況が続いている。少子化対策強化のために、2023 年、政府は、こどもが多い世帯ほど所得税が軽減される「N 分 N 乗」方式の導入や、児童手当の所得制限撤廃などを盛り込んだ「こども未来戦略方針」を発表した。
4. 2023 年、国連は、ウクライナへの侵攻を続けるロシアをこどもの権利を著しく侵害した国の一つに指定した。国連の安全保障理事会の常任理事国がこれに指定されるのは初めてである。また、国連は、ウクライナにもこどもを守る対策の改善を求めた。ロシアは、世界有数の鉱産資源大国で、原油、天然ガス、ダイヤモンド、金鉱などの産出量は世界で上位を占めている。
5. 中国では、1970 年代から一人っ子政策を実施してきたが、急速に進む少子高齢化に対応するため、2010 年代に人口抑制政策を全面的に撤廃した。しかし、特に農村部の少子高齢化が著しく、2010 年代後半から総人口が減少している。中国では、南北の気象条件の違いから、地域によって農産物が異なっている。東北や華北は稲作を中心とする地域で、稲の二期作も盛んに行われる一方、華中や華南は畑作を中心とする地域で、小麦やトウモロコシなどの栽培が行われている。

【No. 30】 次のア、イに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

1 ～ 6 の目が均等に出るサイコロを 5 回振ったときに、3 の目がちょうど 2 回出る確率を求めるため、表計算ソフトウェアを用いて、表 I のシートを作成し、次の作業手順で「サイコロを 5 回振る」操作を 1000 セット繰り返すというシミュレーションを行った。

ただし、使用する表計算ソフトウェアの説明は表 II のとおりである。

＜作業手順＞

- ① 「サイコロを 5 回振る」操作を 1000 セット繰り返すために、セル範囲 A2～E1001 に計算式 $\text{INT}(\text{RAND}() \times 6) + 1$ を入力する。
- ② 1 セットの操作について 3 の目が何回出たかを求めるため、計算式 ア を、セル F2 に入力し、セル範囲 F3～F1001 に複写する。
- ③ 求める確率をセル G2 に表示させるため、計算式 イ を、セル G2 に入力し、確率を計算する。

表 I

行 \ 列	A	B	C	D	E	F	G
1	1 回目のサイコロの目	2 回目のサイコロの目	3 回目のサイコロの目	4 回目のサイコロの目	5 回目のサイコロの目	3 の目が 出た回数	3 の目が 2 回出る確率
2	1	3	4	1	6	1	0.166
3	3	5	5	2	6	1	
4	6	6	2	2	1	0	
1000	4	5	5	3	2	1	
1001	1	6	2	6	3	1	

表 II

用語	説明
セル	表を作成するときの基本となるマス目。その中に値や計算式を入力する(計算式を入力する場合は、計算結果の値を表示する。)。シート内のセルの位置は、列名に行番号を付けたセル番地で表現される。例えば、セル B4 は列 B の 4 行目のセルを指す。
セル範囲	開始のセル番地～終了のセル番地という形で指定する。例えば、セル範囲 A2～D3 は、列 A から列 D までの 2 行目と 3 行目の範囲を指す。
四則演算記号	加減乗除の記号として、それぞれ +、－、×、÷ を用いる。
複写	セル番地やセル範囲の参照を含む計算式を複写した場合、相対的な位置関係を保つように、参照する列、行が変更される。
RAND()	0 以上 1 未満の乱数を返す。
COUNTIF(セル範囲, 検索条件)	セル範囲に含まれるセルのうち、検索条件を満たすセルの個数を返す。例えば、表 I のシートで、COUNTIF(A2～D2, 1) は 2 を返す。
INT(数値)	指定した数値を超えない最大の整数を返す。

ア

1. COUNTIF(A2~E2, 2)
2. COUNTIF(A2~E2, 2)
3. COUNTIF(A2~E2, 2)
4. COUNTIF(A2~E2, 3)
5. COUNTIF(A2~E2, 3)

イ

- COUNTIF(F2~F1001, 2) ÷ 100
- COUNTIF(F2~F1001, 3) ÷ 100
- COUNTIF(F2~F1001, 2) ÷ 1000
- COUNTIF(F2~F1001, 2) ÷ 1000
- COUNTIF(F2~F1001, 3) ÷ 1000

<出典>

・No.1

今西錦司、「生物の世界」、講談社

・No.2

塩川伸明、「民族とネーションーナショナリズムという難問」、岩波書店

・No.3

久木元真吾、「若者の大人への移行と「働く」ということ(『若者の働きかた』所収)」、ミネルヴァ書房

・No.4

鷲田清一、「〈ひと〉の現象学」、筑摩書房

・No.5

Copyright Guardian News & Media Ltd 2025

・No.6

"Study offers a new view of when and how governments distribute land" by Peter Dizikes from MIT News, Apr 27, 2023. Reproduced with permission of MIT News Office.

・No.7

From TIME. © 2023 TIME USA LLC.. All rights reserved. Used under license.

<https://time.com/6333257/social-media-addiction-study/>

・No.8

Can houseplants purify the air in your home? by Christine Ro. Reproduced with permission of BBC News.

・No.9

Used with permission of Dow Jones & Company, Inc., from The Productivity Boost Missing From Your To-Do List, Alexa Corse, The Wall Street Journal, 2024; permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc.

・No.10

Move fast and mend things: The super-rich are trying new approaches to philanthropy, from The Economist, Jan 10, 2024 © The Economist Newspaper Limited, London 2024.

EX－2024 基礎能力

正答番号表

No	正答	No	正答
1	1	21	2
2	3	22	5
3	3	23	3
4	2	24	2
5	3	25	4
6	4	26	5
7	4	27	2
8	4	28	2
9	1	29	4
10	4	30	4
11	3		
12	5		
13	2		
14	1		
15	1		
16	5		
17	3		
18	1		
19	5		
20	5		